

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

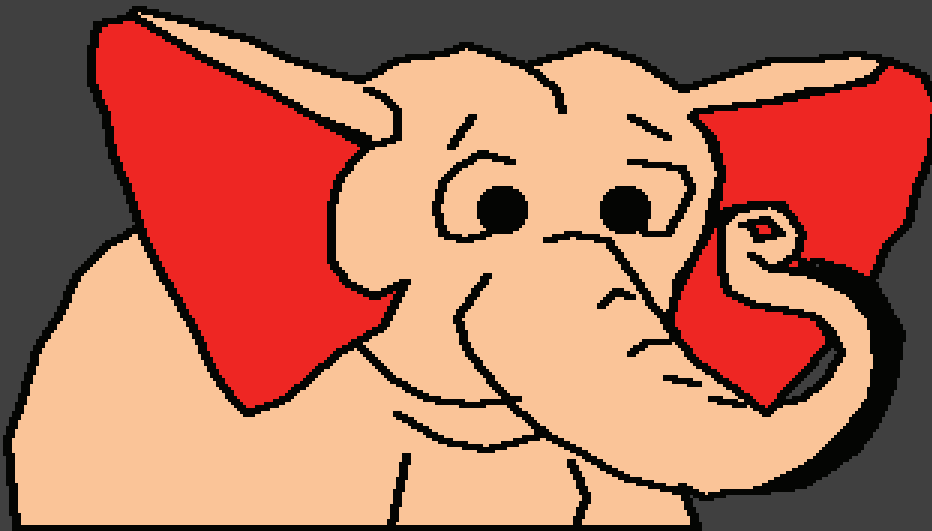
案内いたします

かみ

神さまが、すべてのもの

とき

をつくられた時のこと



^{ぶん}
文: Edward Hughes

^え
絵: Byron Unger; Lazarus

^{かいさくしゃ}
改作者: Bob Davies; Tammy S.

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

^{しゅつばんしゃ}
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

^{きよか} 許可: ^{たにん} 他人に ^う 売らない ^{かぎ} 限り ^{はなし} このお話の ^{また} コピー、又はプリントは、
^{きよか} 許可されています。



わたくし せいしよ かみ
いったいだれが、私たちをつくったのだろう。聖書、つまり神さまのことばは、
じんるい はじ おし
私たち人類が どのようにして 始まったかを教えてくださいます。ずっとずっ
むかし かみ はじ なまえ
と昔のことです。神さまは、いちばん初めの人をつくり、アダムと名前をつけら
かみ ち ちり
れました。神さまは、アダムを地の塵からつくられたのです。



それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、生かさせていただきました。アダムは、自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に置かれていることに気がつきました。



かみ まえ かみ
神さまが、アダムをつくられる前のことです。神さまは、すばらしいものでいっ
み うつく せかい かみ すこ
ぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのでした。神さまは、少しずつ
すこ こだか おか ひろ そうげん
つ、少しずつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、
かお はな たか き ぎ はね ことり と まわ
香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつ
げんき およ
ばちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるへびさんたち。

ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、
かみ
神さまがつくられたのですよ。



いちばん初^{はじ}めの時^{とき}、そうです。神^{かみ}さまが、
まだ何^{なん}にもつ^とくられてい^いな^なか^かつた時^{とき}のこと。

神^{かみ}さまが いら^ほっし^かやる他^{ほか}は、
ほん^なとうに何^なもな^なか^かつたんです。

光^{ひかり}もな^みければ、水^{みず}もない。

上^うもな^しければ、下^{した}もない。

昨日^{きのう}もな^なければ、

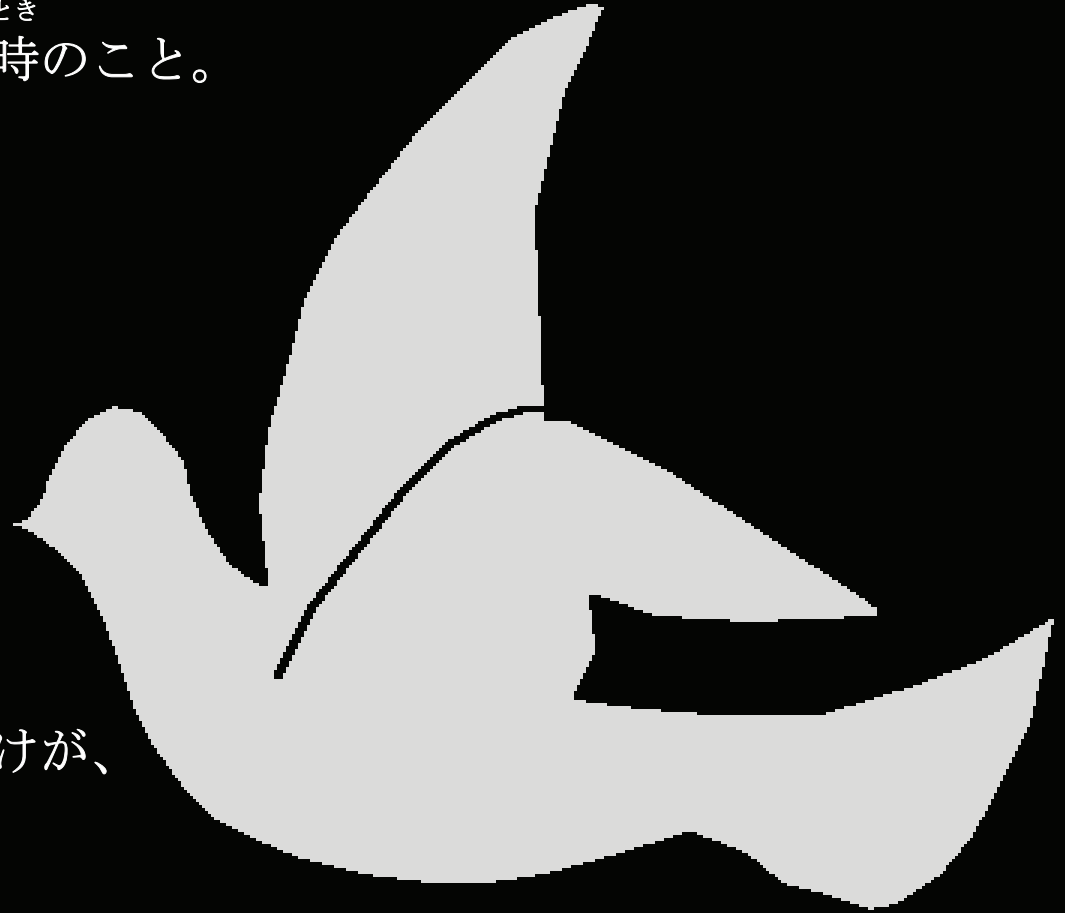
今日^{きょう}もない。ただ、

まだ何^{なん}も始^{はじ}められてない神^{かみ}さまだけが、

いら^ほっし^かいました。

それから^{それ}なの^なです。

神^{かみ}さまがつ^つくりは^はじ^じめられた^られた^たのは。

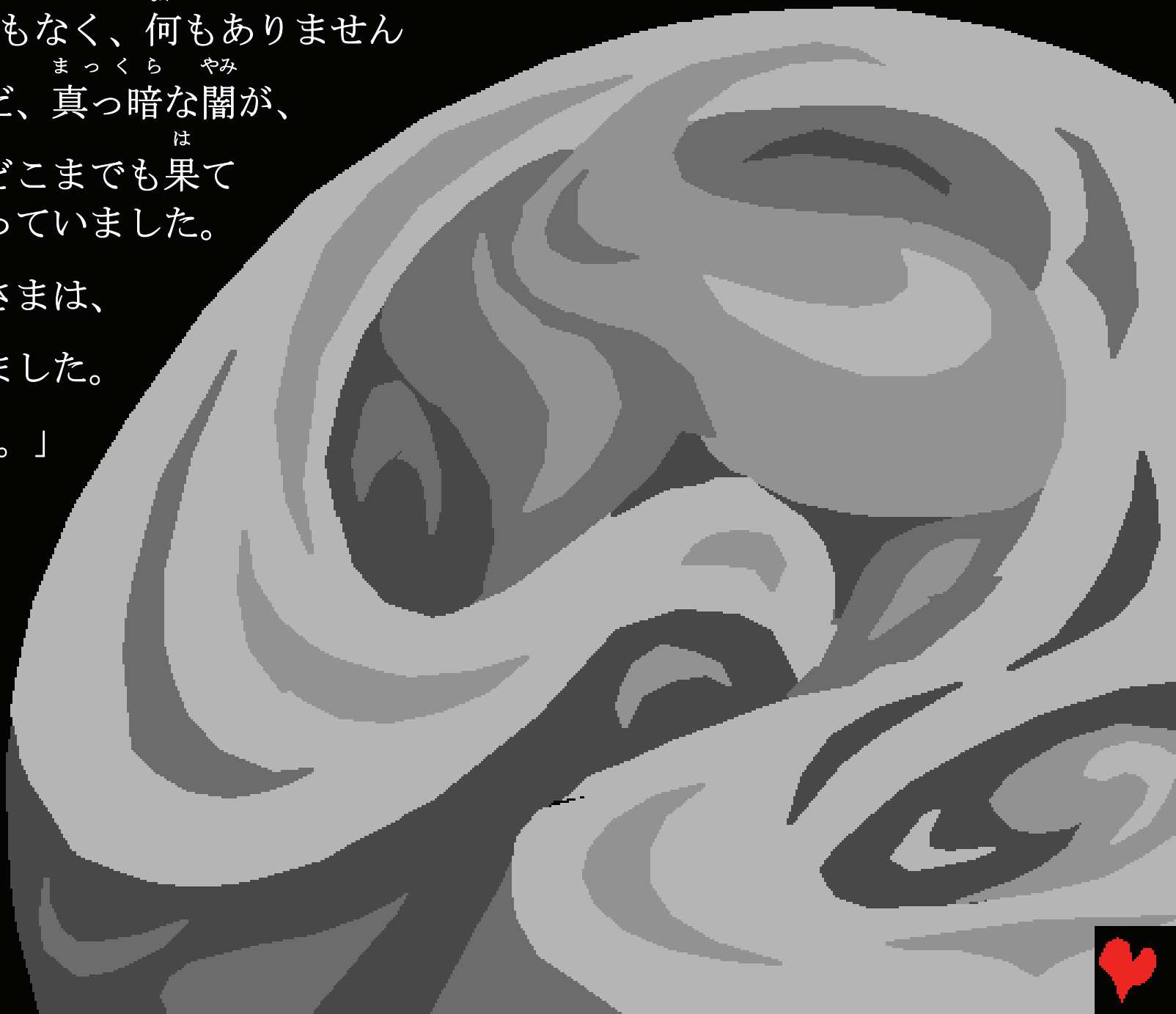


はじ かみ
初め神さまは、
てん ち
天と地をつくられました。

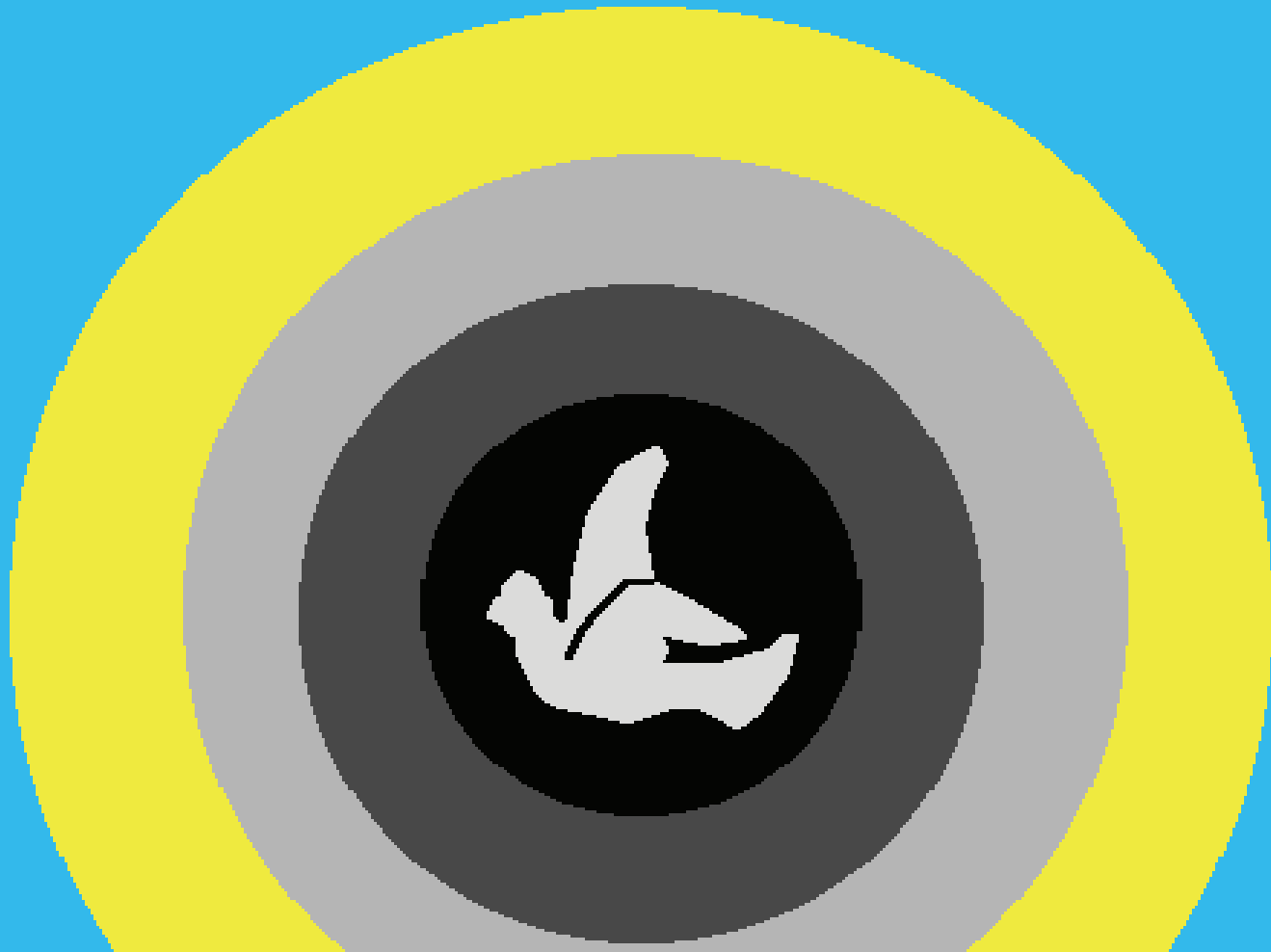


ち かたち なに
その地は形もなく、何もありません
まっくら やみ
でした。ただ、真っ暗な闇が、
は
どこまでもどこまでも果て
しなくおおっていました。

かみ
そこで 神さまは、
くち ひら
口を開かれました。
ひかり
「光、あれ。」
と。



ひかり で かみ
すると、なんとまあ光が出てきたのです。神さまは、
ひかり ひる やみ よる な
光を昼、闇を夜と名づけられました。
ゆう あさ だい1にちめ
こうして夕となり朝がやってきました。第一日目です。



ふつかめ かみ みず はこ

おおぞら

二日目、神さまは水を運んでこられました。それを大空のもとできちんと

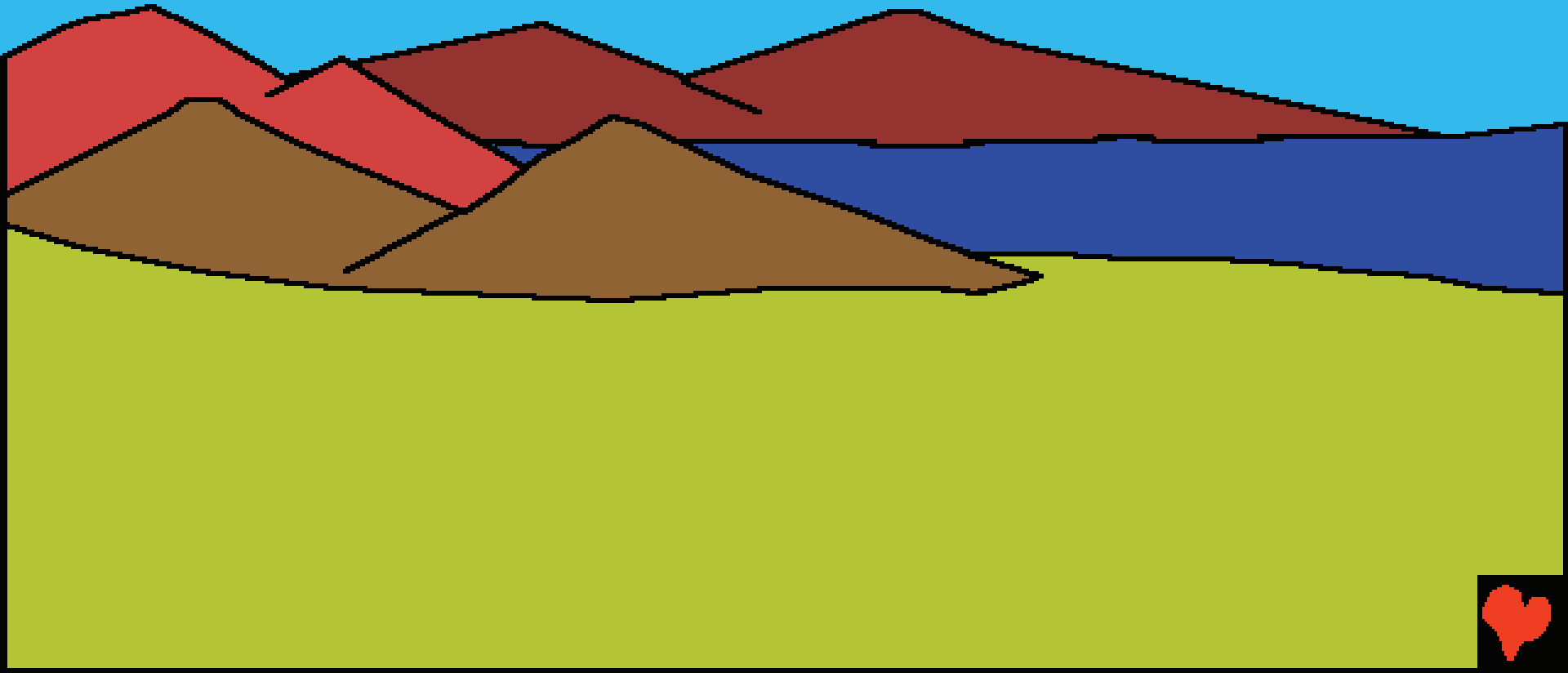
たいよう うみ みずうみ わ そそ

みつかめ かみ

太洋や海や湖に分けられ注がれたのです。三日目、神さまは言われました。

かわ とち あらわ

「さあ、乾いた土地が 現れるように。」と。そしてそのようになりました。



かみ めいれい くさ はな ひく き たか き
また、神さまは命令されました。「草や花、そして低い木や高い木が
あらわ
現れるように。」と。すると、そのようになりました。

ゆう あさ
こうして夕となり朝がやってきました。

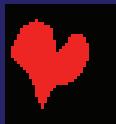
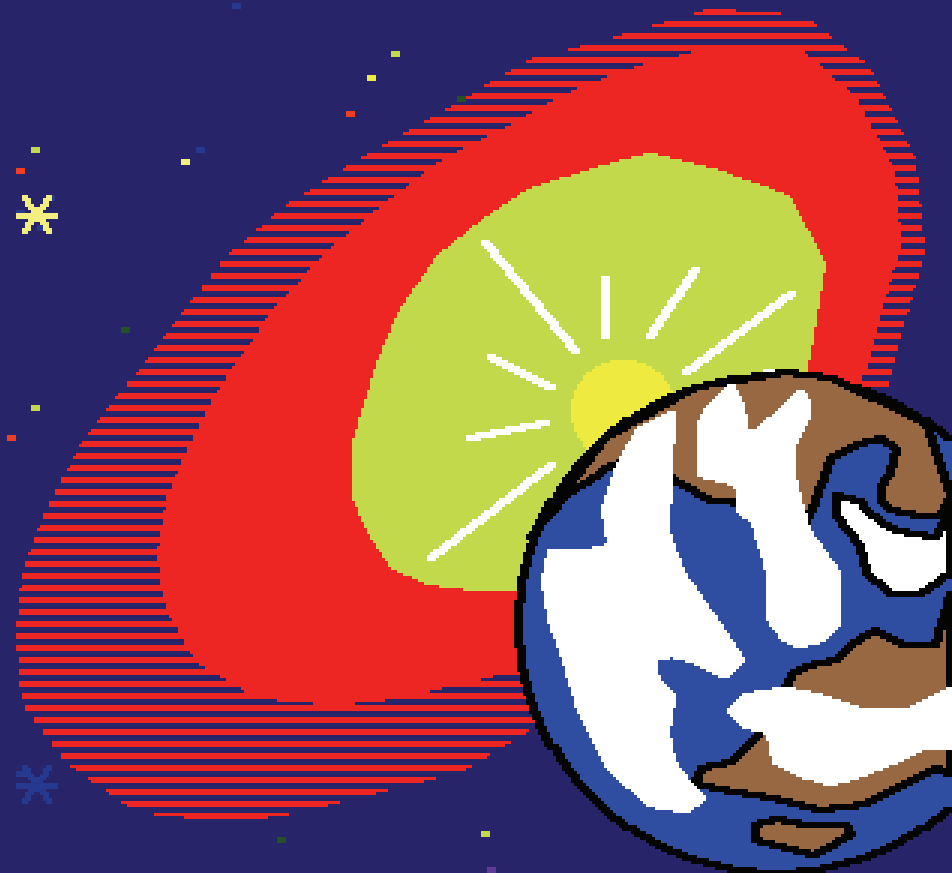
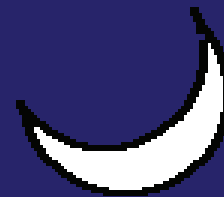
みっかめ
三日目です。



それから ^{かみ}神さまは、^{たいよう}太陽、^{つき}月、^{かぞ}数えきれないほどた

^{ほし}くさんの星を ^{ゆう}つくられました。こうして夕となり

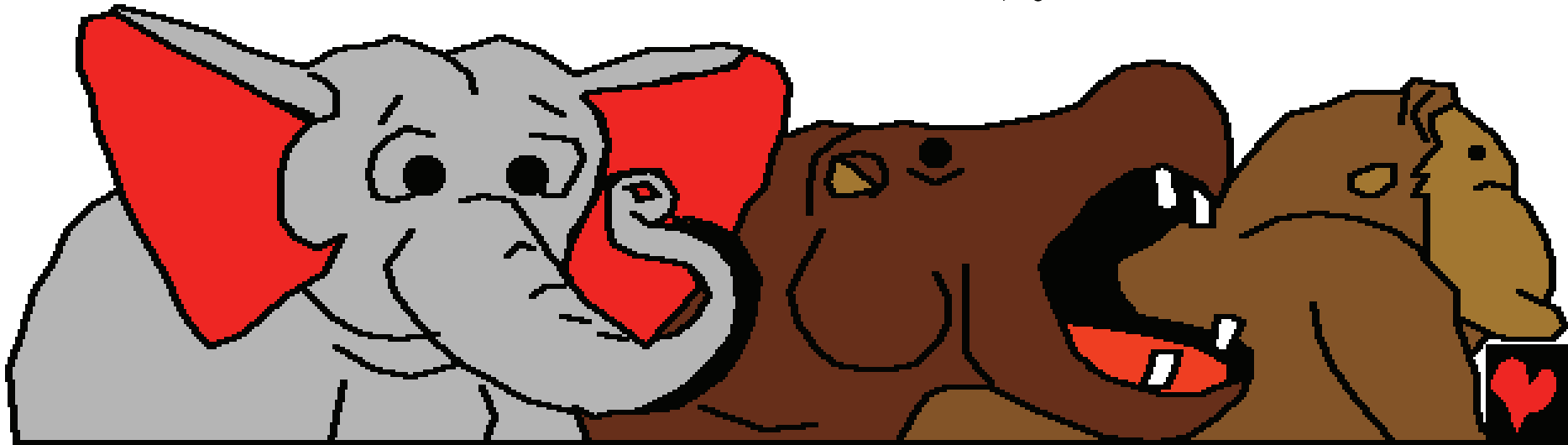
^{あさ}朝がやってきました。^{よっかめ}四日目です。



かみ つぎ かんが
神さまが次に考えられていたことは、
うみ い もの さかな とり
海の生き物や魚や鳥たちをつくることでした。
いっかめ おお
た。五日目、大きなメカジキや ちっちゃい
あし なが
イワシのなかまたち、脚の長いダチ
しあわ
ヨウさんやいつも幸せそうにさえず
っているかわいいハチドリたちも
さかな
つくられました。たくさんの魚たちが
みず およ
水のなかでスイスイと泳ぎまわり、
とり たの ち うみ
またいろいろな鳥たちが 楽しそうに地や海や
そら と
空を飛びまわることができるようにと、
かみ なかま
神さまは、いっぱい、いっぱい仲間をつ
ゆう
くられたのですよ。こうして夕となり、
あさ
朝がやってきました。五日目です。



そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、みんな生き物は ^ち どんどんこの地においで。わたしがつくろう。さあ、どんどんおいで。」こうして ^{しゅるい どうぶつ こんちゅう} いろいろな種類の動物や昆虫、^{るい} はちゅう類もやってきました。ドシン、^{じめん ゆ} ドシンと地面を揺るがすゾウさん、^{いそが} いつも忙しそうなビーバーさんもいます。いたずら好きのサルさんや ^{き ど} のそのそワニさんも。くねくねミミズさんとちょっと気取ったリスさんも。ひよろひよろしているキリンさんに、ゴロゴロの ^な どを鳴らすネコちゃんも。ほんとうに ^{かみ} 神さまは、^ひ その日にあらゆる ^{しゅるい い} 種類の生き物 ^{もの} をつくられたのでした。こうして夕となり ^{ゆう} 朝 ^{あさ} がやってきました。これが ^{むいかめ} 六日目です。



さて、六日目のことです。 ^{むい かめ} 神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、
^{なに とくべつ} 何か特別のこと・・・。 ^{いま} 今 ^{ひと} はもう、人をつくるための準備が、すっかりできあ
^{の た もの} がって ^{かれ つか} いました。野には、食べ物 ^{どうぶつ} が、そして彼に仕える動物たちもいました。

^{かみ} そこで、神さまは、 ^い 言われました。「さあ、
^{わたし} 私 ^に たち ^{ひと} によく似た人をつくろう。そして

^ち 地 ^{かれ} の ^{したが} もの ^{かみ} の ^{かみ} す ^{かみ} べて ^{にしん} を ^に 彼 ^{ひと} に ^{ひと} 従 ^{ひと} わ ^{ひと} せ ^{ひと} よう。」

^{かみ} 神 ^{かみ} さ ^{かみ} ま ^{かみ} は、神 ^{かみ} ご ^{かみ} 自 ^{かみ} 身 ^{かみ} に ^{かみ} 似 ^{かみ} せ ^{かみ} て ^{かみ} 人 ^{かみ} を ^{かみ} つ ^{かみ} く

^{かみ} ら ^{かみ} れ ^{かみ} た ^{かみ} の ^{かみ} で ^{かみ} す。神 ^{かみ} さ ^{かみ} ま ^{かみ} そ ^{かみ} っ ^{かみ} く ^{かみ} り ^{かみ} に ^{かみ} つ ^{かみ} く ^{かみ} ら ^{かみ} れ ^{かみ} た ^{かみ} の ^{かみ} で ^{かみ} し ^{かみ} た。



かみ
神さまは アダムに話されまし
はな
た。「アダム、おまえは庭にあ
にわ
るものは、何でも食べていいん
なん た
だよ。でも、善と悪を教えてく
ぜん あく おし
れる知識の木からだけは、食べ
ちしき き た
てはいけない。もし おまえが
き た かなら
その木のものを食べると、必
し
ず死んでしまうんだよ。」



そしてまた、主なる神は言われました。

ひと ひとり

「人が一人でいるのは、
よくない。さびしいだろう。

わたし かれ なかま

私は彼に仲間をつれてこよう。」

かみ

神さまは、アダムのところへ、

ことり どうぶつ よ

小鳥たちや動物たちを呼びました。



アダムは、かれらみんなに、

なまえ

それぞれの名前をつけてあげました。

そんなことができるなんて、

かしこ

アダムはきっと賢かったのでしょうかね。

とり

どうぶつ

なか

けれど、これら鳥たちや動物たちの中には、

なかま

アダムにぴったりの仲間はみつきりません。



かみ むいかかん
神さまは、六日間ですべてのものをつくられました。

かみ なぬかめ しゅくふく
それから神さまは七日目を祝 福なさって、
ひ やす び その
その日を休みの日とされました。エデンの園では、
つま かみ したが
アダムと彼の妻のエバは 神さまに従いながら、
しあわ く かみ
ほんとうに幸せに暮らしました。神さまは、
ふたり しゅ やしな ちち
二人にとって主であり、養ってくださる父であり、
ともだち
そして友達でもあったのです。



かみ とき
神さまが、すべてのものをつくられた時のこと

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをととても愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて

わたし なか き つみ わたし いま
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
いのち ところ い
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

